Elisabeth EYE

OCTOBER
2023
Vol.75

エリザベト音楽大学

創立 75 周年

音楽をとおして 私が変わり 世界を良くする人になる

エリザベト音楽大学創立75周年記念コンサートシリーズ　スピリチュアルコンサート 祈りの夕べ(6月16日セシリアホール)

オープンキャンパス　学生によるウェルカムコンサート
(7月9日ザビエルホール)

ロビーコンサート(7月14日エントランスホール)

こどものためのミニオペラ「ふしぎな島の物語」
(8月26日東広島芸術文化ホールくらら)

G7広島サミット学生ボランティア(5月19日～21日)

エリザベト音楽大学創立75周年記念　エリザベトコンサートin名古屋
同窓会愛知・三重・岐阜支部共催コンサート(9月13日熱田文化小劇場)

広島交響楽団2023「平和の夕べ」コンサート(8月5日広島文化学園HBGホール)

エリザベト音楽大学
理事長・学長
川野 祐二

未来に向けた取り組み

関東大震災から100年が過ぎましたが地震大国日本では猛暑が続き、雷を伴う台風が列島を襲来する中で、ハワイ・マウイ島の大火災が起こり、大学の地球環境への取り組みの促進を痛感しています。「地震雷火事親父」という言葉がありますが、50年前に帰天した大学創立の父エルネスト・ゴーセンス師（1908/7/19－1973/3/8）は畏怖の存在ではなく、熱血、ユーモア、慈しみの教師だったそうです。

イエズス会、音大卒、広島出身のどれにもあてはまらない私が理事長・学長を兼務して8年、すでに私は創立者の亡くなった年齢（64歳）に達してしまいました。ゴーセンス神父にはやり残したことがたくさんあったことでしょう。ベルギー出身の宣教師として戦前から日本で活動を始め、紆余曲折の生涯を考えるならば、本当にお疲れ様、ありがとうございました、としか言えません。その後も歴代イエズス会理事長の手腕により本学は経営を安定・成長させ、本年75周年を祝うに至っています。

未来に向かう取り組みを検討する中で、学生の学びをサポートする奨学金を充実させますのでお知らせいたします。これ以外の奨学金も準備中です。

「保育士資格試験支援奨学金」を本年度より実施します。これは在学中に保育士資格試験に合格し、資格を取得した学生に10万円を給付します。近年認定こども園等への就職に際しては保育士資格が求められます。保育士資格は本学の教育課程では取得できませんが、公的な試験に合格すれば両学科の誰でも取得できます。試験対策指導を大学は行っており、合格者には奨学金給付を決定しました。

「エルネスト・ゴーセンス奨学金」の拡充を来年度より実施します。シュトゥットガルト音楽演劇大学等交流協定校を含む海外研修を行う学生に対して、月額1,000ドル相当を給付します（期間：6カ月以上12カ月以内）。申請の承認手続は必要ですが、人数制限はありません。奨学金は分割給付とし、一部は留学前に給付する予定です。

学生の皆さんの生き生きとした学修活動を応援してまいります。

AJCU-AP CEOs MEETING（アジア・パシフィックイエズス会大学連盟）

8月27日～30日にフィリピンのバギオ市で行われ、本学からは川野学長とアントキャンパス・ミニストリー室長が参加。各国の大学長らと環境問題やイエズス会教育を取り巻く様々な課題について話し合いました。

学生からの活動報告

海外研修

トロンボーン海外研修で得たものを力に

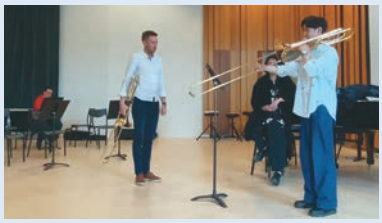
私たちは、若狭和良先生と5月8日から20日にドイツを中心に研修に行きました。ロベルト・シューマン大学のマティアス・グローマー教授やシュトゥットガルト音楽演劇大学のヘンニンク・ヴィークレーベ教授、さらに楽団奏者の先生方に、基礎練習から楽曲、オーケストラスタディのレッスンを受けました。先生方の指導方法は様々ですが、普段のレッスンで指摘される内容と共通する点も多く、これからの自分たちの課題が更に明確になりました。

私たちにとって、現地の気候や、レッスン環境全てが新鮮でした。トロンボーンの音色の違いや、現地学生のモチベーションなど、日本では感じることのできない部分でも多くの違いを感じることができました。また、プラハの春国際コンクールトロンボーン部門本選を会場で鑑賞しました。世界レベルを目の当たりにし、同年代の奏者たちの高い音楽性に刺激を受けました。

この研修は、海外に不慣れな私たちだけでは到底実現できなかったと思います。若狭先生をはじめ、演奏家として現地で活躍されている本学41期卒業生の平井有さん、59期卒業生の岡山奈央さん、そして皆様のお力添えがあってのことと感謝の気持ちでいっぱいです。私たちは、今回の研修で得たものを力にしてより一層学修に励みたいと思います。

管弦打楽器専攻　4年 石井 郁弥　2年 以西 真央　2年 富永 龍太

左から岡山さん、若狭先生、グローマー教授(中央)



個人レッスン

オーケストラスタディ

交換留学

エリザベト音楽大学での交換留学を終えて

私は元々エリザベト音楽大学へ2019年秋から交換留学生として入学する予定でした。ところが新型コロナウィルスの影響で留学への計画や準備が長期間となり、それは本当に大変でした。でも、どうしても日本に行きたかったので、全力を尽くしました。日本の文化や言語、音楽、特にギター音楽に強く関心があったからです。また、ヨーロッパ諸国の生活はどの国も少し似ているので、遠く離れた国で交換留学をする方が面白いと思いました。

1年経った今、日本での留学生活は、さまざまな段階を経て過ごしてきたと実感しています。最初は日本の生活に慣れることに一生懸命でした。ドイツで日本語を勉強していたものの、ここでは自分は全く理解できないと感じていました。日本での生活は興味深く楽しいものでしたが、同時に難しいものでもありました。

その後、私は日本の文化や人々の振舞いを観察し、そのあり方に沿うよう努力しました。ドイツと日本の文化はとても違いますが、考え方は似ていると思います。この交換留学のおかげで、私はたくさんのことを勉強し、たくさんのことを経験しました。時には大変なこともありましたが、日本での1年間は本当に楽しかったです。日本食を堪能したり、新しい人に会ったり、日本の季節の違いを体験したり。広島での1年の留学で、私はより強く、より良い音楽家になったと思います。このような、またとない機会に恵まれ、心から感謝しています。私を迎えてくれたエリザベト音楽大学、本当にありがとうございます！

シュトゥットガルト音楽演劇大学
修士課程　室内楽専攻
エングリング, タチアナ

大学中庭にて

ギターのレッスンを終えて　先生や仲間たちと

エリザベト音楽大学はシュトゥットガルト音楽演劇大学と交換留学制度協定を締結しています。
本学に在籍したまま半年もしくは1年間留学し、留学先で修得した単位を本学の単位として認定することができます。

ASEACCU（東南・東アジアカトリック大学連盟）第29回学生国際会議2023（8月22日～26日）

今年は “Global Goals in the Care of our Common Home: A Catholic Response”をテーマとして、セント・ルイス大学（フィリピン・バギオ市）で開催されました。この会議は、現在世界で注目されているSDGs、2015年に教皇フランシスコによって発表された社会回勅「ラウダート・シ」の2つに焦点を当てて、進められました。

最も印象深かったのは、学生同士でSDGsに関するゲームや意見交換を行ったことです。国によって抱える問題の大きさや捉え方は様々で、自国の活動のアピールに留まらず、各国の足並みを揃えることの重要性も実感しました。また、Student Nightでは、各国が自国文化の発表を行いました。日本チームは盆踊りなどに加え、エリザベトのみでの演奏も披露し、互いを認め、音楽で心を通わせることの素晴らしさを体験しました。

最後に、広島から来たと話すと、「広島は重要な歴史のある街だよね。」と多くの人が認識していることに驚き、原爆投下という悲惨な歴史の重みを改めて実感しました。もっと広島の歴史について知っていなければならないし、SDGsが目指す「誰一人取り残さない世界」の実現のために、音楽を通してどう貢献するかを考えるようになりました。多くの人と繋がるためには、やはり英語力が必要です。より説得力のある表現にするために、これからも言語力と演奏を磨いていきたいです。

3年音楽文化専修　河野 明音　2年声楽専攻　村田 菜　2年鍵盤楽器専攻　汲地 紗弥

Mount Costa, Sleeping Beauty にて

Student Night：アヴェ・マリアを披露

Student Night：みんなで盆踊り

修了書をいただきました

エリザベト音楽大学　鍵盤楽器専攻

夏期ピアノ研修旅行 in フライブルク（8月28日～9月6日）

個人レッスン

特別講義

今回の研修が初めての海外でとても不安でしたが、鍵盤楽器専攻の先生方のサポートと、講師のギリアード・ミショリ先生の気さくな人柄にあっという間に緊張はほぐれ、楽しみながら音楽と向き合うことができました。先生のレッスンは、学生の意見を尊重し、対話しながら表現を深めていくものでした。曲のイメージを持ちながら、大切な音、和声のバランス、そして空間の感じ方など自分が表現する音楽についてじっくりと考えを深めることができました。また、表現だけでなく、技術的に難しい部分をどのように練習するかを考えたり、効率的な身体の使い方などを教わったりと細かいところまでじっくりと学びました。さらに、練習に明け暮れるのではなく、ドイツの街を散歩したり、人のレッスンを聴いたり、生活を楽しむことが大切で、そこに音楽のインスピレーションが隠されていると仰っていました。滞在中この言葉がずっと頭の中にありました。日本と違い湿気のない気候は、ピアノの音だけでなく全ての音がクリアに聴こえると感じました。

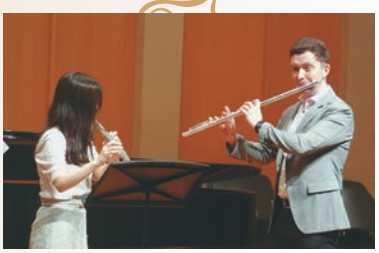
最終日の特別講義では、ミショリ先生と音楽について意見交換をして、とても充実した時間を過ごすことができました。修了コンサートには一般の方も聴きに来られ、ドイツで自分の演奏を聴いていただけたという達成感と、共に切磋琢磨した仲間の演奏にとても感動しました。終わったときのミショリ先生の笑顔が忘れられません。

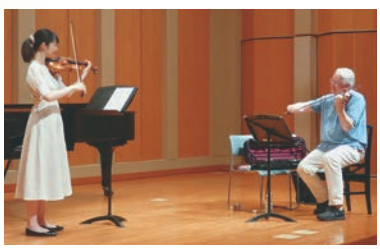
クラシック音楽の本場の空気感を肌身で感じ取れたことは、今後の私の音楽人生において大いなる道標になると確信しています。

3年鍵盤楽器専攻　爲保 うた

修了コンサート後　ミショリ先生を囲んで

客員教授による特別レッスン


客員教授 ブリアコフ, デニス
（フルート）


客員教授 ゲーデ, ダニエル
（ヴァイオリン）

客員教授 フリードリッヒ, ラインホルト
（トランペット）

エリザベト音楽大学
学長補佐
垣内 敦

学長補佐メッセージ

Message

エリザベトに赴任して10年が経ちました。この間、温かく迎え入れてくださった諸先輩の先生方は次々と退任され、気がつけばベテラン組となり、今年度からは畏れ多くも学長補佐として主に教務のサポートをさせていただいています。

改めて今の大学を俯瞰してみると、学生や教員のやる気を次々と創出していることに気付きます。昨年度行われた専攻実技を含むカリキュラムの一新が象徴するような学修の充実は筆頭に挙げられます。今年度では、ピアノ専攻学生を対象にドイツのフライブルクに於いてギリアード・ミショリ教授によるセミナーをこの夏に開催しましたし、創立75周年記念コンサートシリーズの一環として行われる本学専任教員と広島交響楽団の共演による演奏会等、これらはほんの一例ですがエリザベトにはパワーが漲っています。

その一方で、創立以来からの基本理念や伝統、数千を超える卒業生の思いを常に意識していることもエリザベトの素晴らしさだと感じています。既にエリザベトを知る人にとっても、新しいエリザベトファンにとっても魅力的な大学で在りたいと願って精進していきたいと思います。

2022(令和4)年度決算の概要

〔表1〕事業活動収支計算書　収支のバランス良好　(単位:円)

	科目	予算	決算	差異(予算-決算)
	学生生徒等納付金	450,000,000	452,442,500	△2,442,500
	経常費等補助金	97,500,000	105,113,080	△7,613,080
	その他	73,843,900	67,365,922	6,477,978
	教育活動収入計	621,343,900	624,921,502	△3,577,602
	人件費	465,731,000	465,614,887	116,113
	教育研究経費	421,862,600	392,965,223	28,897,377
	管理経費	114,722,900	101,690,556	13,032,344
	教育活動支出計 予算クリア	1,002,316,500	960,270,666	42,045,834
A	教育活動収支差額	△380,972,600	△335,349,164	△45,623,436
	教育活動外収入計	606,000,000	605,753,780	246,220
	教育活動外支出計	350,000	316,601	33,399
B	教育活動外収支差額	605,650,000	605,437,179	212,821
C=A+B	経常収支差額	224,677,400	270,088,015	△45,410,615
D	特別収支差額	107,300,000	126,591,476	△19,291,476
E	予備費 予算クリア	34,200,000		34,200,000
C+D-E	基本金組入前当年度収支差額	297,777,400	396,679,491	△98,902,091
	基本金組入額合計	△180,000,000	△180,841,819	841,819
	当年度収支差額	117,777,400	215,837,672	△98,060,272
	前年度繰越収支差額	1,325,434,377	1,325,434,377	0
	翌年度繰越収支差額	1,443,211,777	1,541,272,049	△98,060,272
(参考)	事業活動収入計	1,408,843,900	1,416,079,271	△7,235,371
	事業活動支出計	1,111,066,500	1,019,399,780	91,666,720

〔表2〕貸借対照表(B/S)　左右でバランスしている　(単位:円)

	科目	2023.3.31	科目	2023.3.31	
①	固定資産	14,573,353,647	固定負債	339,855,780	
	有形固定資産	3,206,124,595	長期借入金	92,513,800	
	土　地	441,820,561	長期未払金	0	
	建　物	2,274,105,099	退職給与引当金	247,341,980	
	その他有形固定資産	490,198,935	流動負債	91,371,375	
	特定資産(基本金など引当資産)	10,903,412,506	短期借入金	34,996,400	
	その他の固定資産	463,816,546	前受金ほか	56,374,975	
	有価証券	461,881,678	負債の部合計	431,227,155	④
	その他固定資産	1,934,868	基本金	14,053,657,302	⑤
②	流動資産	1,452,802,859	第3号基本金ほか	14,053,657,302	
	現金預金	129,024,817	繰越収支差額 増	1,541,272,049	⑥
	その他流動資産 増	1,323,778,042	純資産の部合計	15,594,929,351	⑤+⑥
①+②	資産の部合計	16,026,156,506	負債及び純資産の部合計	16,026,156,506	④+⑤+⑥

〔表1〕事業活動収支計算書・・・教育活動収支差額(符号A)は、支出が収入を上回り△3億35百万円となりました。予算を45百万円上回りました。収入が6億24百万円と予算を3百万円上回り、支出が9億60百万円と予算を42百万円下回ったことが要因です。
教育活動外収支差額(符号B)は、予算を若干下回り6億5百万円となりました。これらにより経常収支差額(符号C)は、2億70百万円と予算を45百万円上回り、さらに特別収支差額(符号D)1億26百万円を合算した基本金組入前当年度収支差額(C+D-E)は、予算を98百万円上回って3億96百万円となりました。基本金へ1億80百万円組入れ、当年度収支差額は2億15百万円となり、前年度繰越収支差額13億25百万円に加算して、翌年度繰越収支差額は15億41百万円となりました。
基本金組入前当年度収支差額(3億96百万円)が示すように、2022年度決算も前年度決算に引続き収支のバランスは良好となっています。

〔表2〕貸借対照表・・・学校法人の総資産は160億26百万円となり、2021年度末比、3億37百万円増加しています。⑤基本金140億53百万円と⑥繰越収支差額15億41百万円が本学の純資産155億94百万円となります。第2号基本金等への積立により、純資産が増加しています。2021年度に引続き財務基盤の強化が出来ました。

エリザベト音楽大学後援会　会員募集

エリザベト音楽大学後援会は、在学生の音楽研究活動を支援することを目的として、在学生保証人、卒業生、教職員そして後援会の趣旨に賛同してくださる方々により組織された団体です。在学生に対して主に次のような支援を行っています。

○演奏活動支援　○コンクール参加支援　○セミナー参加支援　○演奏会出演支援
○美術館キャンパスメンバーズ

この機会に、ご入会についてご検討くださるようお願い申しあげます。ご入会いただいた場合、本学の主催演奏会にご招待いたします。また、お納めいただきました会費は、税法上の寄附金控除の対象となります。

郵便振替口座	01360－0－67324	加入者名	エリザベト音楽大学後援会

●お問い合わせ　エリザベト音楽大学後援会事務局(総務部内) Tel 082-221-0918 (代)

エリザベト音楽大学

2023年度 今後の演奏会スケジュール

エリザベト音楽大学創立75周年記念コンサートシリーズ

ピアノレクチャーコンサート

11/5(日) 開演 15:00

ヤン・イラーチェク・フォン・アルニン客員教授

ザビエルホール　料金 1,000円

テーマ「ウィーンはピアノの街」
ウィーン古典主義スタイルの解釈について

ヤン・イラーチェク・フォン・アルニン客員教授

エリザベト音楽大学創立75周年記念

第82回定期演奏会

11/20(月) 開演 18:30

セシリアホール　料金 1,000円

曲目 L.v.ベートーヴェン：フィデリオ序曲
C.ドビュッシー：交響詩「海」
細川俊夫：「ヒロシマ・声なき声」(3・4・5楽章)

出演 指揮：下野竜也　アルトソロ：吉原未来
演奏：エリザベト音楽大学合唱団・交響楽団

細川 俊夫

下野 竜也

チャリティークリスマスコンサート

12/9(土) 開演 15:00

セシリアホール　料金 1,000円

曲目 G.F.ヘンデル：メサイア(抜粋)(混声合唱、オーケストラ)
J.ラター：Dancing Day(2年女声合唱)
J.シベリウス：カルミナリア(1年女声合唱)
ほか

出演 指揮：大谷研二、寺沢　希
演奏：エリザベト音楽大学合唱団・交響楽団

大谷 研二

寺沢　希

創立75周年記念演奏会 vol.3

3/16(土) 開演 14:00

セシリアホール　料金 2,000円[前売] / 2,500円[当日]

曲目 G.マーラー：《さすらう若人の歌》
P.チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 Op.23
W.A.モーツァルト：フルート協奏曲 第1番 ト長調 K.313

出演 指　揮：飯森範親
バリトン：折河宏治
ピアノ：垣内　敦
フルート：万代恵子
管弦楽：広島交響楽団

飯森 範親

折河宏治

垣内　敦

万代 恵子

●お問い合わせ・チケット取り扱い：学事部演奏活動　Tel 082-225-8004

〈音楽家の耳〉トレーニング検定試験

〈音楽家の耳〉トレーニングは、ソルフェージュと音楽理論を統合し、実践的なトレーニングを行いながら総合的な音楽能力を養うことを目的としています。検定試験は、日ごろのトレーニングで養った能力を客観的に確かめ、その後の学習の指針として役立てるためのものです。

※グレード5以上の取得者は、エリザベト音楽大学の入学試験での楽典・ソルフェージュが免除されます(初年度奨学生入学試験(音楽文化学科総合型特別選抜入学試験)を除く)。

実施日	受付期間（必着）
12月10日(日)	11月2日(木)～11月9日(木)
2024年 3月9日(土)	2024年 2月1日(木)～2月8日(木)

●お問い合わせ　検定試験係　Tel 082-225-8015

エリザベト演奏グレード検定試験

演奏実技を学習する人たちに、学習段階の自覚と、上の段階を目標に一歩一歩学習を進めることを目的とした検定試験です。

※検定試験の結果により、入学試験において受験が免除される科目があります。

科目	実施日	受付期間（必着）
声楽、鍵盤楽器 副科ピアノ	12月10日(日)	11月2日(木) ～11月9日(木)
管弦打楽器	12月24日(日)	11月15日(水) ～11月22日(水)
声楽、鍵盤楽器 管弦打楽器、副科ピアノ	2024年 3月9日(土)	2024年 2月1日(木) ～2月8日(木)

●お問い合わせ　検定試験係　Tel 082-225-8015

ピアノレッスンin福岡

開催日 2024年2月10日(土)
会　場 ㈱ファイネストピアノ福岡
対　象 将来音大進学を考えている小学生から大学受験生

募集人数 7名 ※定員に達し次第、募集を終了します。
受講料 45分個人レッスン／6,000円(税込)
申込締切 2024年1月26日(金)
●お問い合わせ　学事部企画・広報　Tel 082-225-8009

講　師 垣内 敦 教授

ピアノレッスンin熊本

開催日 2024年2月11日(日)
会　場 ㈱ピアノハープ社
対　象 将来音大進学を考えている小学生から大学受験生

募集人数 7名 ※定員に達し次第、募集を終了します。
受講料 45分個人レッスン／6,000円(税込)
申込締切 2024年1月26日(金)
●お問い合わせ　学事部企画・広報　Tel 082-225-8009

講　師 久保 千尋 専任講師

ピアノレッスンin大分

開催日 2024年2月18日(日)
会　場 カワイ大分ショップ
対　象 将来音大進学を考えている小学生から大学受験生

募集人数 7名 ※定員に達し次第、募集を終了します。
受講料 45分個人レッスン／6,000円(税込)
申込締切 2024年1月26日(金)
●お問い合わせ　学事部企画・広報　Tel 082-225-8009

講　師 中谷 政文 専任講師

スプリングフェスティバル

開催日 2024年3月16日(土)
入場無料 17日(日)・23日(土)

さまざまな音楽会や講演会をお楽しみいただける3日間です。この機会にぜひエリザベト音楽大学へお越しください。

※詳細はホームページに掲載いたします。

第7回 ESpoir新人演奏会

開催日 2024年3月23日(土)
14:00開演
入場無料 セシリアホール

エリザベト音楽大学・くらしき作陽大学
大学間包括交流協定事業

JIHEE since 2004 UNIVERSITY 2017

発行 エリザベト音楽大学
〒730-0016 広島市中区幟町4-15
Tel 082-221-0918(代) Fax 082-221-0947
https://www.eum.ac.jp/
E-mail kikaku01@eum.ac.jp

エリザベト音楽大学 ホームページ
エリザベト音楽大学 高校生応援サイト

YouTube マイナビ進学 キャリタス進学

編集　学事部 企画・広報　2023年10月1日発行